

盛岡中央消防署新庁舎及び（仮称）山岸出張所庁舎整備等事業について

平成 25 年 8 月 29 日

総 務 部

1 落札者の決定

盛岡中央消防署新庁舎及び（仮称）山岸出張所庁舎の整備については、施設の設計・建設から現庁舎の解体、完成後の維持管理までの業務を包括した一体的な整備を図ることとし、事業の実施に係る事業者の選定に向けて平成 25 年 1 月 31 日に入札公告を行い、総合評価一般競争入札方式により提案を募ったところ、7 企業グループの参加があった。

事業者の選定に当たっては、有識者等 6 人で構成する「盛岡中央消防署新庁舎及び（仮称）山岸出張所庁舎整備等事業事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、事業者の選定に関する基準の策定と当該基準に基づく提案の審査を行った。

その結果、平成 25 年 7 月 19 日に開催した第 5 回選定委員会において、前田建設工業株式会社東北支店を代表企業とする企業グループ（提案者記号：S）が最優秀入札提案者に選定された。

これを受けて組合では、本事業の実施に係る契約の相手方として、最優秀入札提案者の前田建設工業グループを落札者に決定した。

(1) 入札参加企業

齟齬を生じる恐れがあるので省略します（いせ）

(2) 選定委員会委員名簿（平成25年7月19日現在）

区 分	氏 名	所 属 ・ 役 職
委員長	谷 津 憲 司	東北工業大学大学院工学研究科 教授
副委員長	吉 野 博	東北大学大学院工学研究科 名誉教授
委 員	岩 田 智	岩手県立大学宮古短期大学部 准教授
委 員	東 藤 郁 夫	盛岡市市長公室長
委 員	獅子内 建 二	盛岡市財政部長
委 員	古 舘 謙 護	盛岡地区広域消防組合消防長

(3) 選定までの経過

目 程	内 容
平成24年10月 5日	実施方針及び業務要求水準書（案）の公表
平成24年10月15日	実施方針等説明会
平成24年10月18日	第1回選定委員会 （審査方法等の審議）
平成25年 1月24日	第2回選定委員会 （事業者選定基準等の審議）
平成25年 1月31日	入札公告（入札説明書等の公表）
平成25年 2月 7日	入札説明書等説明会
平成25年 3月15日～ 平成25年 3月21日	参加表明書及び資格確認書類の受付
平成25年 5月23日	提案書の受付
平成25年 6月 6日	第3回選定委員会 （参加資格要件審査及び基礎審査結果の確認）
平成25年 7月12日	第4回選定委員会 （事業者プレゼンテーション及びヒアリング）
平成25年 7月19日	第5回選定委員会 （提案審査及び最優秀入札提案の選定）
平成25年 7月31日	落札者の決定

2 提案審査の手順

(1) 審査方法

参加表明書及び資格確認書類を提出した各企業グループについて、資格確認の審査を行った後、提案書の審査を行った。提案書の審査は、入札価格の確認、基礎審査項目の審査を行った後、事業者プレゼンテーション及びヒアリングを行い、定性審査を実施した。

提案内容についての「定性評価点（150点満点）」と入札価格についての「価格評価点（100点満点）」を合計した「総合評価点（250点満点）」により、最優秀入札提案を選定した。

なお、選定委員会においては、入札参加企業名を伏せた匿名により審査を行った。

(2) 定性審査

入札提案書の内容について、次頁に示す審査項目ごとに評価し加点を行った。

定性審査の加点の付与基準は、五段階評価とし、評価に従い各審査項目の配点に対応する係数を乗じて加点を算定する。

<定性審査の加点付与基準>

評価区分	評価内容	係数
A	特に優れている	1.00
B	AとCの間	0.75
C	優れている	0.50
D	CとEの間	0.25
E	要求水準は満たしているが、優れている点が認められない	0.00

(3) 価格審査

入札価格から価格評価点を算出する。

入札参加者の中で最低の入札価格の入札提案に対し、価格評価点の満点（100点）を付与する。他の入札参加者の価格評価点は、最低入札価格と当該入札価格との比率により算出する。

<計算式>

$$\text{価格評価点} = 100 \text{点} \times (\text{最低入札価格}) / (\text{当該入札価格})$$

(4) 最優秀入札提案の選定

選定委員会は、最も高い総合評価点を得た入札提案を最優秀入札提案として選定する。

3 審査結果

齟齬を生じる恐れがあるので省略します (いせ)

4 財政負担額の削減効果

組合の財政負担額については、本事業をPFI事業（BTO方式）で実施することにより、組合が従来どおりの手法により直接事業を実施する場合と比較し、現在価値換算後、約22%削減される結果となった。

事業方式	事業費	現在価値換算後の事業費
従来方式	61億7,050万円	50億4,730万円
PFI方式	48億9,870万円	39億3,000万円
削減額	12億7,180万円	(VFM) 11億1,730万円
削減割合	約21%	(VFM) 約22%

※ 事業費は、設計・建設工事費、20年間の維持管理費及び現庁舎の解体工事費を含む。（消費税及び地方消費税を含む。）

5 事業期間

- (1) 設計・建設期間 契約締結日の翌日から平成28年4月30日まで
- (2) 維持管理・運営期間 平成28年5月1日から平成48年3月31日まで

6 提案概要

(1) 盛岡中央消防署

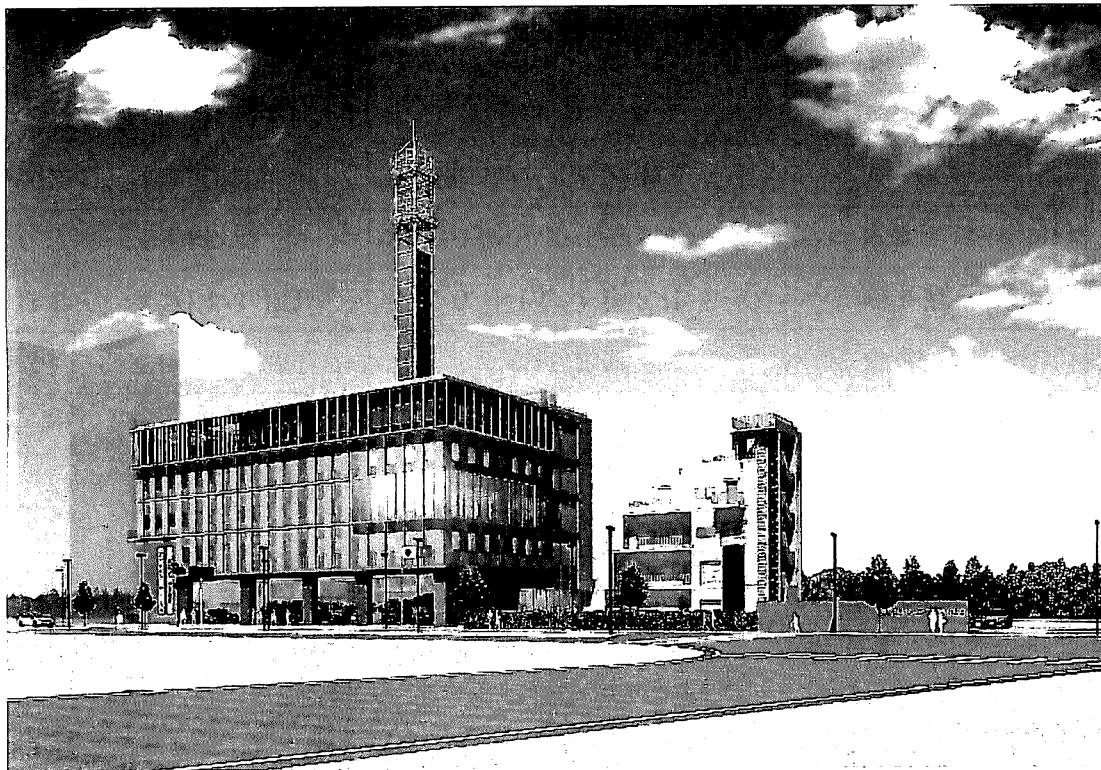
場 所	盛岡市盛岡駅西通一丁目127番26外
敷地面積	4,456.83㎡
構 造	新庁舎：鉄筋コンクリート造（免震構造） 訓練塔：鉄筋コンクリート造 車庫棟：鉄骨造
建物規模	新庁舎：地上6階（中2階含む） 訓練塔：地上5階 車庫棟：地上1階
延床面積	約7,510㎡（新庁舎：約6,870㎡、訓練塔：約450㎡、 車庫棟：約190㎡）

(2) （仮称）山岸出張所

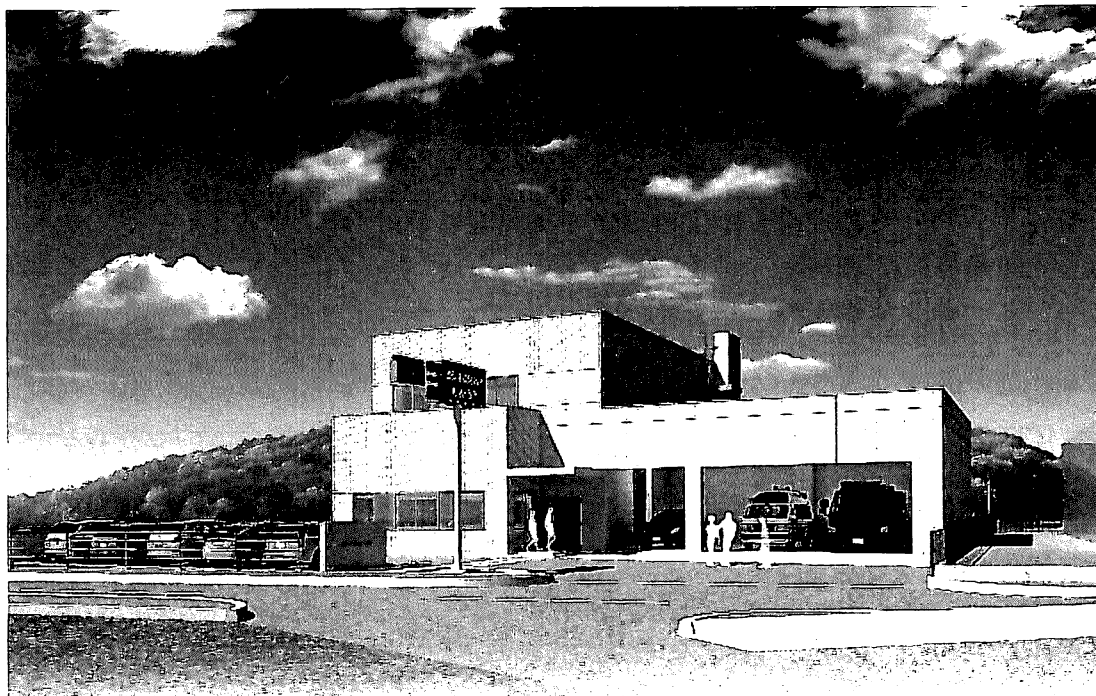
場 所	盛岡市山岸六丁目269番2外
敷地面積	1,574.32㎡
構 造	鉄筋コンクリート造
建物規模	地上2階
延床面積	約680㎡

■落札者の提案イメージ図

盛岡中央消防署



(仮称) 山岸出張所



※本図は参考資料として提出されたものであり、実際の建築イメージとは異なる場合があります。